

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
現場の声を聞く機会の確保	<p>大名タケノコの販路拡大や長命草を利用した特産品開発など、地域の資源を生かし、生活していけるよう取り組んでいるところ。</p> <p>小さな離島の事情が分かりつつ、サポートできる人材はなかなかいない。</p> <p>県職員の方も是非島に来て、一緒に島の課題の解決策を考えていただきたい。もっと村に来る機会を増やしていただきたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に十分留意しながら、機会を捉えて、離島の現場をお訪ねし、実態の把握に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、日頃から村とも緊密な連携を図り、離島の現状の的確な把握に努めるとともに、「特定離島ふるさとおこし推進事業」を活用し、地域資源を活かした産業振興等が図られるよう引き続き支援してまいります。</p> <p>また、地域おこし協力隊制度等を活用した村によるサポート人材確保の取組等について助言等を行ってまいります。</p>	<p>離島振興課</p> <p>地域政策課</p>
離島の物流拠点の設置	<p>離島は配送料がネックになっている。量が少ないので、単価を落とすこともできず、船を経由するので、発送のタイミングの問題もある。</p> <p>例えば、離島の自治体の横のつながりとして、島の間地点や鹿児島市などに、様々な離島の荷物を取りまとめる拠点のようなものがあると、取扱量が増え、配送の単価も下げられる。</p> <p>また、その拠点自体も離島の産品を扱う物産展のような場所にもできるのではないかと考えるが、検討していただきたい。</p>	<p>離島における配送料のコスト削減については、物流拠点施設の整備が有効であるかなど、関係団体等を通じ情報収集を行ってまいります。</p> <p>なお、三島村を含む特定有人国境離島地域においては、農水産物及び加工品等の戦略産品に係る輸送費の支援の制度もあります。県としましては、この制度が離島の実情に応じた内容となるよう、制度の充実について国に要望してまいりたいと考えています。</p>	<p>交通政策課</p> <p>離島振興課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
牛舎の確保	<p>片泊に移住する人が増えているが、牛舎が足りていない。移住する人がいても、牛舎がないと、仕事がないという状況になってしまうので、牛舎の増築をお願いしたい。</p> <p>牧場で牛を飼養しているが、出産前になると、牛舎へ引き込み、出産をさせる。出産時の事故を防ぐために、牛舎はなくてはならない。</p> <p>黒島は平たん地が少なく、山ばかりの地形。山を造成して、敷地を広くするには膨大な資金が必要になり、村では、財政的に厳しいと聞いている。安心して牛が出産できる牛舎の建設のために、力を貸していただきたい。</p>	<p>複数の農家で共同で利用するための繁殖雌牛用の牛舎を整備する場合や繁殖雌牛の頭数を増やすための牛舎を整備する場合には、国や県の補助事業が活用可能です。</p> <p>各事業については、事業の要望調査が行われる際に、村を通じて県に事業実施の要望をあげ、実施計画について協議させていただく必要がありますので、三島村役場に御相談ください。</p> <p>今後も、新たな担い手の確保につながるよう各種事業の活用について三島村役場と連携して対応してまいります。</p>	畜産課
子供の交通安全	<p>道路が狭いため、車が出てくるときに子供たちが走っていると、ぶつかりそうになり、危ない。</p> <p>カーブミラーの設置等ができれば、子供たちの安全にも、車の安全にもつながると思う。</p>	<p>御要望のカーブミラーについては、現地調査を実施したところであり、県道と村道との交差点については、今年末に、設置する予定です。</p> <p>児童生徒に対しては、各学校において、校区内の安全マップづくりなどを通じて、狭い道や見通しの悪い場所等身の回りの危険箇所等を認識させるとともに、様々な状況や場面において危険を予測し、安全に行動できる能力を身につけさせるよう引き続き努めてまいります。</p>	<p>道路維持課</p> <p>保健体育課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
大名タケノコのPR	<p>大名タケノコを東京に出荷しているが、現在は輸送費が驚くほど高騰し、出荷してもほとんど利益が出ない状況。輸送費については、鹿児島県内の離島が抱えている大きな悩み。</p> <p>インターネットを通じて販売すればそれなりの収益は上がると思うが、ネットでは、なかなか違いが認められず、ブランド化にはつながらないと考えている。</p> <p>送料が少なくすむ、タケノコ王国の鹿児島市場で、三島村の大名タケノコの違いを知っていただくことが重要ではないかと考えている。離島が持っている県内の素晴らしい特産品のPRをお願いしたい。</p>	<p>三島村の大名タケノコについては、今年度も県のSNS等を通じてPRさせていただきました。</p> <p>また、離島の特産品のPRについては、「ふれあいアイランドの形成推進事業」により、各離島の特産品を展示・販売する「かごしまの島々フェア」を鹿児島市で開催するなどの取組を行っているところです。</p> <p>今後とも多様な魅力のある離島特産品のPRの充実に取り組んでまいります。</p> <p>なお、三島村を含む特定有人国境離島地域においては、農水産物及び加工品等の戦略産品にかかる輸送費の支援の制度もあります。県としては、この制度が離島の実情に応じた内容となるよう、制度の充実について国に要望してまいりたいと考えております。</p>	<p>森林経営課</p> <p>離島振興課</p> <p>離島振興課</p>
焼酎の販路拡大	<p>三島村の焼酎は、値段が高いが、良いお店（飲食店）におけば、違いが分かるお客さんが買ってくれると思う。</p> <p>焼酎の価値を分かってくれるお店にPRをして、販路を広げ、まずは鹿児島市内でブランド化していく。地産地消で頑張っていると認めてもらう努力が必要ではないかと思う。</p>	<p>かごしま産業支援センターに設置している「よろず支援拠点」では、ブランディングや販路拡大など、事業に関するあらゆる相談に各分野の専門家（コーディネーター）がワンストップで対応しています。販路拡大等に活用可能な支援事業等も御紹介していますので、同拠点に御相談ください。</p> <p>県酒造組合においても、焼酎トレイル（酒蔵ツーリズムの普及）やウェブサイト等での情報発信等付加価値の向上に向けて取り組んでいます。</p> <p>県と県酒造組合で取り組む事業等にもお声がけしますので、是非御参加を検討いただき、みしま焼酎無垢の蔵の個性や強みをPRする機会として御活用いただきたいと思っております。</p>	<p>販路拡大・輸出促進課</p> <p>中小企業支援課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>事業拡大に伴うサポート</p>	<p>事業を拡大するにあたり、役場から補助金等の支援はあるが、それだけでは足りないと感じる。お金だけではなく、もう少し現場レベルで、専門的にビジネスをサポートしていただける制度があればありがたい。</p> <p>商工会に相談したことがあるが、三島村は商工会がなく、村役場に相談しても、IT関連の専門的な知識を持った人がいないため、なかなか話が前に進まない。</p> <p>今後は、自治体職員も、ITに関するリテラシーを高めたり、コンサルタントのように専門性を高めていく必要があると思う。</p>	<p>かごしま産業支援センターに設置している「よろず支援拠点」では、事業計画の策定をはじめ、売上拡大や販路開拓など事業に関するあらゆる相談に各分野の専門家（コーディネーター）がワンストップで対応しており、IT活用に関する支援も行っています。</p> <p>また、三島村には商工会が設置されておりませんが、県商工会連合会が三島村の事業者からの経営に関する相談等に対応しておりますので、まずは御相談ください。</p> <p>さらに、県では、今年度新たに、デジタル政策やICTなどの専門的知見を有する外部有識者（DX推進アドバイザー）による相談窓口を設置しています。</p> <p>相談窓口では、民間事業者からのデジタルに関する相談に応じるほか、市町村に対して職員のITリテラシーの向上等に関するアドバイスを行うこととしています。</p> <p>市町村職員に対しては、これまでIT関連の専門知識習得のための研修を実施しており、引き続き、市町村職員のITリテラシーの向上等を支援してまいります。</p>	<p>商工政策課</p> <p>中小企業支援課</p> <p>デジタル推進課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
焼酎のブランド化と販路拡大	<p>三島村焼酎無垢の蔵のブランド化について、製造本数が少ないことは、希少価値としては良いが、ブランド化として武器になっているのか疑問に思う。</p> <p>認知度を高めようとはしているが、なかなか販売成績がふるわないため、どうしたらよいか伺いたい。</p>	<p>かごしま産業支援センターに設置している「よろず支援拠点」では、ブランディングや販路拡大など、事業に関するあらゆる相談に各分野の専門家（コーディネーター）がワンストップで対応しています。販路拡大等に活用可能な支援事業等も御紹介していますので、同拠点に御相談ください。</p> <p>県産本格焼酎の販路拡大には、付加価値の向上や積極的な情報発信が重要であると考えており、県では、県酒造組合と連携し、全国展開する大手酒販店等や首都圏の著名な飲食店等とタイアップしたブランド力向上、販路拡大に向けた取組を展開しています。</p> <p>県酒造組合においても焼酎トレイル（酒蔵ツーリズムの普及）やウェブサイト等での情報発信等付加価値の向上に向けて取り組んでいます。</p> <p>県と県酒造組合で取り組む事業等にもお声がけしますので、是非御参加を検討いただき、みしま焼酎無垢の蔵の個性や強みをPRする機会として御活用いただきたいと思ひます。</p>	<p>販路拡大・輸出促進課</p> <p>中小企業支援課</p>
	<p>蔵が完成した当初は、島内限定販売を製造免許で決められていたが、さすがに島内だけでは消化しきれないということで、かけあっていたいただいた結果、島外にも焼酎を卸せるようになった。</p> <p>ここ数年は、県外、関東・関西にも出荷しているが、もう少し販路を拡大しないと作る量と売る量のバランスが取れない。島外への販路拡大を蔵の課題として現在取り組んでいるところ。</p> <p>三島村の焼酎を、都会に販路拡大するためには、どのように取り組めばよいか伺いたい。</p>		

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
サツマイモの基腐病対策	<p>島内でも基腐病が疑われる症状の芋が見つかっている。一度出してしまうとなかなか減らないということも農業指導員から聞いているので、持ち込まない、残さない、増やさないを大原則に対策は行うが、なかなか徹底して行うことも難しい状況。</p> <p>どのようにすれば、手遅れになる前に基腐病に対する対策ができるか。</p>	<p>県では、本年1月に策定した「鹿児島県サツマイモ基腐病対策アクションプログラム」に基づき、ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」3つの対策を総合的に推進することとし、地元紙への防除暦の掲載など生産者への周知活動も行っているところ。</p> <p>基腐病がまん延していない地域では、まず「持ち込まない」対策が重要なことから、健全苗の確保や苗消毒にしっかり取り組むとともに、「増やさない」対策として、異常株の早期抜き取りや予防散布、排水対策、「残さない」対策としての収穫残さの早期耕うんなどが必要で</p> <p>す。</p> <p>また、発生が確認された生産者に対しては、国の事業を活用し、資材などの購入支援等を行っているところ。</p> <p>個別の御相談等は、農産園芸課にお問合せください。</p> <p>県としては、引き続き、関係機関・団体と一体となって、基腐病対策に取り組んでまいります。</p>	農産園芸課

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>樫の生産</p>	<p>鹿児島県の樫油は東京、長崎に次いで全国3位であるが、伊豆諸島や五島のような大規模産地に比べ、鹿児島県下の樫生産は小規模産地が点在しており、その一つ一つが大規模産地と戦うことは非常に厳しい。</p> <p>小規模産地を守っていくために、県としてアピールすることで、各産地を存続させていくような動きにつながってくれればと思っている。</p> <p>樫の仕事をやってみて、お年寄りしかできない仕事だと感じた。これからの高齢化社会において、「年をとっても輝ける場所がある」と発信していけば、産地存続につながるのではないかと考えており、県にも力添えをいただきたい。</p> <p>また、県内の産地で横のつながりが無いのも気になっている。それが、鹿児島県の樫をPRできない原因にもなっていると思うので、生産者が集まる機会があれば嬉しい。</p>	<p>樫の実は、三島村や桜島、甕島において生産されています。</p> <p>県としては、関係市町村や地域振興局に設置されている林業普及指導員等と連携しながら、島々の樫生産者間の意見交換や情報交換の機会を設けていきたいと考えています。</p> <p>また、樫油などの県産品の販路拡大には積極的な情報発信が重要であると考えており、県産業会館のブランドショップや、かごしま遊楽館のアンテナショップ、ECサイト「かごしま特産品ねっと『かごいろ』」等において広くPRする場を提供しているところです。</p> <p>なお、（公社）鹿児島県特産品協会では特産振興支援員を設置して販路開拓の提案や指導等を行っており、他の生産者等の情報も御紹介できますので、同協会に御相談ください。</p>	<p>森林経営課</p> <p>販路拡大・輸出促進課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>特産品の販路開拓と雇用</p>	<p>島には収入を得る仕事が少ないので、雇用の場を作りたいという想いがある。</p> <p>離島キッチンの方にお手伝いをいただき、黒島みかんクッキー等を作った。箱詰めしたもののほかに、お土産にしやすいばら売りや、配りやすくできるように封筒をつける等工夫して、販売することになった。</p> <p>また、シフォンケーキの冷凍販売ができたら良いと思っていたが、難しいとのこと。今後、十島村のようにアンテナショップができることに期待している。</p> <p>2、3人で切り盛りをしているが、これらの商品が売れて、賃金アップが図れれば、もっと多くの人が働けるようになるのではと思っている。</p>	<p>かごしま産業支援センターに設置している「よろず支援拠点」では、ワンストップで、事業に関するあらゆる相談に各分野の専門家（コーディネーター）が対応しており、商品の販売促進については、パッケージやラベル等のデザインの改善、ホームページ制作、SNSを使った効果的な広報などの支援を行っています。</p> <p>また、県産業会館のブランドショップや、かごしま遊楽館のアンテナショップ、全国の百貨店における鹿児島物産展など、県産品を広くPRする場を提供しているほか、誰にでもいつでも購入いただける機会が広がる、ECサイト「かごしま特産品ねっと『かごいろ』」もありますので、御活用ください。</p>	<p>販路拡大・輸出促進課</p> <p>中小企業支援課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
里親の後任	<p>山村留学である「しおかぜ留学」の里親をしている。</p> <p>自分も高齢になり、後数年で里親をやめようかと考えているが、子どもの数が非常に少なく、自分が里親を辞めてしまうと、三島竹島学園が閉校になるのではないかと考えている。そうなる前に良い後任の方を見つけていただきたい。</p>	<p>三島村教育委員会では、豊かな自然の中で相互の教育効果の向上を図るとともに、学校の活性化と教育の振興・充実を図ることを目的とした「しおかぜ留学」を行っています。</p> <p>県教育委員会としても、この取組の趣旨が生かされるよう、今後とも村教育委員会と協力してまいります。</p> <p>継続的な里親の確保を含めた「しおかぜ留学」のあり方については、村と意見交換を行いながら検討してまいりたいと考えています。</p>	<p>義務教育課</p> <p>離島振興課</p>
村に赴任する教員	<p>子どもの数が非常に少ないので、三島村に学校の先生が赴任される際は、自分の子ども達を村に連れてきていただけるとありがたい。</p>	<p>教職員の人事異動に当たっては、村教育委員会の要望等を踏まえながら行っているところであり、御要望については、村教育委員会にもお伝えします。</p>	<p>教職員課</p>
船溜りの確保	<p>漁業をしているが、漁船の係船場所が浅くなっており、船がぶつかってしまうので、船溜りの確保をお願いしたい。</p>	<p>竹島港は村の管理港湾となっています。まずは三島村に御相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>県においては、三島村が事業を実施するために必要な予算の確保や技術的支援等を行ってまいります。</p>	<p>港湾空港課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
島の観光	<p>三島村観光案内所では、県外の観光客から、「始発の飛行機で鹿児島に来て、三島村行きのフェリーに間に合わない」、「島から帰る時も、最終の飛行機に間に合わない」という旨の問合せをいただく。</p> <p>フェリーみしまは、生活航路を兼ねているので、運行時間を変更するのは難しい。</p> <p>観光客からは、翌日の飛行機を待つまでの間に巡れる鹿児島県の観光スポットを聞かれることも多いので、観光連盟等と連携した情報共有をさせていただければ非常にありがたい。</p>	<p>御意見については、早速、県観光連盟と情報共有を行ったところでは、</p> <p>県としては、三島村観光案内所、三島村、県観光連盟等と連携しながら、三島村への観光客が、三島村への旅の前後に県内観光を楽しめるよう、港や村役場などに県や鹿児島市の観光案内パンフレットを設置するなど、観光情報の発信等に取り組んでまいります。</p>	PR観光課
村営住宅のインターネット環境整備	<p>村営住宅におけるインターネットの引き込み工事については、ぜひ品なので鹿児島県の補助事業に入らないと言われている。</p> <p>インターネットを活用することが当たり前の世の中だと考えているので、住宅の基本的な構造として、インターネットの配線工事も補助の対象に含めていただければありがたい。</p>	<p>一般世帯のインターネットサービス利用については、受益者負担の観点から、初期工事費用も含め、サービス提供事業者と契約の上、回線工事を行っていただいております。今回の村営住宅におけるインターネットの引き込み工事については、サービス提供事業者である三島村に相談していただくようお願いいたします。</p> <p>なお、県では特定離島ふるさとおこし推進事業において、定住・交流人口の増加により島の活性化を図るため、定住促進住宅の整備に対して補助を行っており、住宅整備にあたりインターネットの配線工事を合わせて実施する場合は、補助の対象としています。</p>	デジタル推進課 離島振興課

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>宿泊場所の整備支援</p>	<p>宿の増築を検討するが、島内に業者がおらず、機材を全部島外から持ってくるため、費用がとんでもない桁数になる。銀行融資においても、航路が週4で客数が見込めないことや、島民数が少なく必要性がないということで、拒否される事例が多い。</p> <p>離島の観光振興として、一泊できる交流の場は必要と考えているので、御支援いただけるとありがたい。</p>	<p>地域の観光振興については、各地域の幅広い関係者が連携して取り組むことが肝要であると考えます。</p> <p>金融の支援としては、国の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」において、地域で立案する観光地再生に向けた計画等に基づく、宿泊施設の大規模改修や廃屋の撤去等の取組等に対する支援が行われています。</p> <p>資金計画づくり、事業計画の相談につきましては、県において、稼げる観光地域づくりに取り組む地域のDMO等に対し、専門家派遣や、地域資源磨き上げ、観光コンテンツ造成等の実践事業への助成による伴走支援に取り組んでいます。</p> <p>宿泊施設等が行うコロナ後を見据えた新たな需要に対応するための取組（前向き投資）に対する助成も行っておりますので、これらの支援策の活用も御検討ください。</p> <p>また、県中小企業融資制度では、宿泊施設の整備に利用可能な資金を設けています。</p> <p>融資に当たっては、具体的な事業計画が策定されており、その実現性があるか、収益が見込まれるか等について、保証機関及び金融機関が審査することとなっています。</p> <p>事業計画については、かごしま産業支援センターに設置している「よろず支援拠点」や県商工会連合会において、事業者からの経営に関する相談に応じており策定支援も行っていますので、同拠点等に御相談ください。</p>	<p>PR観光課</p> <p>商工政策課</p> <p>中小企業支援課</p>

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
県道の維持補修	<p>県道221号線は、私たちの生活道であり、海がしけて港に接岸できない時に、人や物資を運ぶ大切な役割を持っている。</p> <p>しかし現在、道は非常に荒れており、年に数百メートルの舗装改修補助をしていただいても間に合っていない。また、昨年の大雨で、県道が陥没し、4か月半ぐらい通行止めにもなっていた。</p> <p>今以上の県道の改修工事をお願いしたい。</p>	<p>県道片泊大里線の舗装補修については、路面の損傷状況を勘察し、緊急性の高い箇所から補修を行っているところであり、今後も村と連携しながら対応してまいります。</p>	道路維持課
片泊港の改修	<p>漁師をしているが、片泊港は風が吹くと停泊できない。</p> <p>漁船の船着場の方も底が浅くなっていて、へらが当たってしまうので、改修をお願いしたい。</p>	<p>片泊港は村の管理港湾となっています。まずは三島村に御相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>県においては、三島村が事業を実施するために必要な予算の確保や技術的支援等を行ってまいります。</p>	港湾空港課
移住者に対する住宅の確保	<p>村の人口を増やしたいが、住む家がない。どの市町村でも同じかもしれないが、住宅の確保についてお願いしたい。</p>	<p>県では、移住希望者等が県内へ移住することを促進するため、市町村が所有する住宅を移住者向け住宅として改修する際に、整備費用の一部を助成しており、住宅の確保の支援に取り組んでいるところです。</p> <p>今後とも、市町村と連携して移住・交流の促進に取り組んでまいります。</p>	産業人材確保・移住促進課

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
夜間急患搬送体制	<p>昼間の急患搬送は、ドクターヘリや防災ヘリを要請すると、20分ぐらいで到着する。</p> <p>一方、夜間の自衛隊のヘリは、到着まで3時間近くかかる。この自衛隊のヘリをもう少し早く島に来るような、手続の簡素化ができないものか。</p> <p>また、この自衛隊ヘリの急患搬送制度がなくなると伺ったが本当なのか教えていただきたい。</p>	<p>離島における自衛隊での急患搬送については、自衛隊法に基づき、医療機関から依頼を受けた市町村・消防からの要請を受け、知事が自衛隊に対してヘリの出動要請を行っています。</p> <p>急患搬送の時間短縮を図るため、自衛隊において、搬送の必要性や緊急性が迅速に判断できるよう、県は円滑な関係機関との連絡調整に、市町村・消防は患者の病状等の正確な情報伝達に努めているところです。</p> <p>令和4年度中に、現在離島急患搬送を担っている鹿屋救難ヘリが除籍される予定であり、県においては、現在、防衛省と、九州にある自衛隊の体制や、現在持っている機材の所要時間、急患の発生から搬送までの手順等の協議を行っているところです。</p> <p>熊本や宮崎の基地からの出動を想定しており、現行の鹿屋基地からの出動に比べて飛行距離が伸び、搬送時間が長くなることが懸念されることから、県としては、いかに時間短縮できるかということを中心に協議しているところです。</p> <p>今後とも、離島からの急患搬送体制が維持されるよう、引き続き協議を行ってまいります。</p>	消防保安課

知事とのふれあい対話（三島村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
医療の充実	<p>三島村は、子育てをするには非常に素晴らしい場所だと考えているが、医師が駐在していないことが不安。オンライン診療では、けがをした際の、現場の医療行為ができない。 医療の充実をお願いしたい。</p>	<p>県では、離島・へき地における住民の医療確保のため、市町村が設置するへき地診療所に対して運営費、設備整備費を補助しているほか、離島・へき地に巡回診療や医師派遣等を実施するへき地医療拠点病院に対しても、運営費等の支援を行っているところです。</p> <p>さらに、三島村に対し、遠隔診療に必要な機器整備等の支援を行うことで、へき地診療所間で連携し、医師不在時においても医師がいるへき地診療所からの支援が可能になったほか、タブレットを活用した在宅での患者診察、看護師による処置が可能となったところです。</p> <p>このほか、離島・へき地の救急医療体制としてドクターヘリや自衛隊等による救急患者搬送を行っているところです。</p> <p>県としては、引き続き、三島村における医療提供体制の充実に向け、総合的に必要な施策を実施してまいりたいと考えています。</p>	保健医療福祉課